

令和 2 年 度 事 業 報 告

里 親 開 拓 運 動 (愛 の 手 運 動)

(1) “あなたの愛の手を” の申込者状況

申込者数 < 第 1 表 >

年度		平 2 6	平 2 7	平 2 8	平 2 9	平 3 0	令 1	令 2	協会発足 以来合計
神 戸	市 内	1 0 0	6 8	7 9	7 6	1 1 9	1 0 5	8 8	7 4 9 7
	県 下	1 6 8	1 5 8	1 2 9	1 6 3	1 3 6	1 2 1	1 0 6	1 1 3 3 7
	その他	1 0	8	1 0	1 6	1 0	1 2	3	1 2 0 2
	計	2 7 8	2 3 4	2 1 8	2 5 5	2 6 5	2 3 8	1 9 7	2 0 0 3 6
大 阪	市 内	3 3	2 7	4 7	3 2	4 0	3 9	3 5	—
	府 下	7 8	4 8	1 5 2	1 2 9	1 7 0	1 0 9	1 2 8	—
		(1 2)	(6)	(1 5)	(8)	(1 6)	(3)	(4)	—
	その他	1 5 4	2 0 4	2 0 1	1 5 0	1 8 3	1 8 3	1 2 5	—
計	2 6 5	2 7 9	4 0 0	3 1 1	3 9 3	3 3 1	2 8 8	2 5 9 2 8	
合 計		5 4 3	5 1 3	6 1 8	5 6 6	6 5 8	5 6 9	4 8 5	4 5 9 6 4

神戸（神戸新聞・ラジオ関西）、大阪（毎日新聞大阪版・奈良版・京都版・滋賀版・和歌山版・島根版・鳥取版）における毎週 1 回の呼びかけに対する申込者数の状況は < 第 1 表 > の通りである。府下の（ ）書きは、堺市在住者。

(2) 家庭委託状況

令和 2 年度中に協会が取り扱った要養護児童の状況 < 第 2 表 >

		取 扱 児童数	取 扱 い 状 況						
			協 会 委 託	児 相 よ り 委 託	推 薦 中 面 会 中	実 引 親 取	里 親 探 し 中 止	適 任 者 な し	人 選 中
神 戸	愛 の 手 掲載児童数	3 5	4	1	8	4	1	0	1 7
	そ の 他 取扱児童数	7	6	0	0	0	0	0	1
	計	4 2	1 0	1	8	4	1	0	1 8
大 阪	愛 の 手 掲載児童数	1 0 4	1 8	7	5	1	1 0	2 6	3 7
	そ の 他 取扱児童数	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1 0 4	1 8	7	5	1	1 0	2 6	3 7

令和2年度中に委託した児童の年齢と委託予定期間 <第3表>

年 令		0	1	2	3	4	5	6	10	13	計
期 間								～	～	～	
神 戸	養子縁組	3							1		4
	期間不定			2	1						3
	短期									1	1
	週末			1				1			2
小 計		3	0	3	1	0	0	1	1	1	10
大 阪	養子縁組		4	7	2	1	2				16
	期間不定										0
	短期										0
	週末								2		2
小 計		0	4	7	2	1	2	0	2	0	18
合 計		3	4	10	3	1	2	1	3	1	28

(3) 協会発足以来、里親探しを行った児童の状況

昭和37年から協会が取り扱った児童の状況 <第4表>

現 在 の 状 況		神戸事務所	大阪事務所	合 計	
		S37～R3.3月末	S39～R3.3月末		
里 親 へ 委 託 し た 児 童	現在里親委託中	神戸市内	14	—	14
		兵庫県下	27	—	27
		大阪市内	—	6	6
		大阪府下	—	4	4
		堺市	—	2	2
		その他	3	20	23
	養子縁組が完了したもの		721	1165	1886
	就職および大学進学		128	31	159
	実親家庭へ復帰したもの		135	73	208
	事情があって里親から施設へ		100	95	195
	死亡したもの		3	1	4
	小 計		1131	1397	2528
	児童相談所から委託したもの		48	362	410
	週末里親へ委託中のもの		28	6	34
週末里親への委託完了したもの		156	65	221	
小 計		184	71	255	
未 委 託 児 童	現在児童相談所へ推薦中のもの	8	5	13	
	人 選 中	18	37	55	
	実親等の引き取りのため中止	281	347	628	
	里親委託方針の変更(施設)	416	791	1207	
	里親探し中に死亡	4	1	5	
小 計		727	1181	1908	
合 計		2090	3011	5101	

協会が昭和37年以来（大阪は昭和39年以来）里親探しを行った児童の現状の内訳は <第4表>の通りである。

令和2年度 事業報告

－ 神戸事務所 －

I 里親家庭及び養育希望者のための研修とレクリエーション

養育希望者のための研修

里親や養親を希望する人たちのために今年度は次のような研修を行った。

■里親認定のための研修

兵庫県、神戸市、明石市から委託を受け、基礎研修6回（講義6回、実習3回）、登録前研修は5月の第1回目が新型コロナウイルス感染防止のため中止としたが、年間を通して4回開催することができた。

(1) 養育里親・養子縁組里親基礎研修

基礎研修は、DVD やパワーポイントを活用し、里親制度の基本的な意味と役割等について解説し、グループ討議などを行った。なお、平成29年度より養子縁組を希望する人たちにも研修の受講が義務づけられた。令和2年度の受講者は延305人。

施設への訪問実習は中止とせざるを得なかったため、DVDの視聴と施設職員による講義に代えて3回実施した。

		会 場	参加者数 (人)	うち 兵庫県	神戸市	明石市
第1回	講義	令和2年 4月18日(土)	神戸市立総合福祉センター第5会議室 <中止>			
	実習	5月	神戸少年の町・少年の町乳児院 <中止>			
2回	講義	6月16日(火)	神戸市立総合福祉センター第5会議室 <中止>			
	実習	8月	神戸真生塾・真生乳児院 <中止>			
3回	講義	8月5日(水)	神戸市立総合福祉センター第5会議室	41	26	13
	実習	9月4日(金)	たちばな職員研修センター研修室 (神戸少年の町・少年の町乳児院)	45	29	11
4回	講義	10月17日(土)	神戸市立総合福祉センター第5会議室	35	24	8
	実習	11月10日(火)	たちばな職員研修センター研修室 (神戸少年の町・少年の町乳児院)	34	26	4
5・6回	講義	令和3年 1月14日(木)	神戸市立総合福祉センター第5会議室	41	32	7
	講義	2月13日(土)	明石保健所多目的ホール	45	29	10
	実習	2月22日(月)	神戸市立婦人会館さくら (神戸真生塾・真生乳児院)	64	45	14
(延べ人数) 合計			305	211	67	27

(2) 養育里親・養子縁組里親登録前研修

平成29年4月より養子縁組里親登録希望者にも研修の受講が義務づけられたため、研修の2日目に1時間の養子縁組に関する特別講義「養子養育と養子縁組」を行なった。

研修後の2日間の施設実習は施設側の実習者受け入れが困難であることから、11月及び3月の受講者の施設実習は次年度に延期して実施することとなった。

		日 時	会 場	参加者数 (人)	うち 兵庫県	神戸市	明石市
第1	講義	令和2年 5月23日(土)	たちばな職員研修センター研修室 <中止>				

回		24日(日)	<養子縁組研修受講>				
第1回	実習	6~7月	県下および神戸市内の乳児院・児童養護施設で実施(2日間) <中止>				
第2回	講義	7月21日(火)	西日本こども研修センター あかし大研修室 <養子縁組研修受講>	39	25	3	5
		22日(水)		<27>	<20>	<6>	<1>
第3回	実習	8~10月	県下および神戸市内の乳児院・児童養護施設で実施(2日間)	40	25	11	4
第3回	講義	9月26日(土)	姫路市民会館第6会議室 <養子縁組研修受講>	46	35	7	4
		9月27日(日)		<35>	<31>	<4>	<0>
第4回	実習	10~11月	県下及び神戸市内の乳児院・児童養護施設で実施(2日間) *9人中止	38	30	4	4
第4回	講義	11月27日(金)	たちばな職員研修センター研修室 <養子縁組研修受講>	42	23	10	9
		11月28日(土)		<25>	<17>	<6>	<2>
第5回	実習	令和3年 1~2月	県下及び神戸市内の乳児院・児童養護施設で実施(2日間) <4月~5月に延期>				
第5回	講義	令和3年 3月10日(水)	西日本こども研修センター あかし大研修室 <養子縁組研修受講>	44	32	8	4
		3月11日(木)		<22>	<15>	<7>	<0>
	実習	令和3年 4~5月	県下及び神戸市内の乳児院・児童養護施設で実施(2日間) <6月~7月延期>				
(延べ人数)合計				419	289	84	46
<養子縁組研修受講>				<109>	<83>	<23>	<3>
<実習延期者数>				<93>	<60>	<23>	<10>

■養子縁組を希望する人のための研修

・養子を育てたい人のための講座

今年度は、神戸、宝塚で各1回、計2回開催した。令和2年度は2会場とも1日のプログラムとし、午前中はドキュメンタリーDVDを見てグループ討議し、午後は養親の子育て体験談を中心に、小グループに分かれて話し合いの時間をもった。兵庫県、神戸市、明石市に於いては、今年度も養子縁組里親の登録を希望する人はこの講座を受講することによって登録前研修、および更新研修の1時間の養子縁組に関する講義に替えることができることになっている。受講者は61人。

会場	場 所	日 時	参加人数
神戸	神戸市立総合福祉センター 第5会議室	令和2年10月31日(土) 10:20~16:30	31人 (17家庭)
宝塚	宝塚市立男女共同参画センターエル学習交流室	令和3年2月6日(土) 10:20~16:30	30人 (16家庭)
計			61人 (33家庭)
プログラム			
第1部	ドキュメンタリーDVDの視聴とグループ討議 パワーポイントを使って里親・養親を求める子どもたちの現況の解説		
第2部	養親の子育て体験談 養親子関係を築くために考えておきたいこと(グループ討議) 養子を迎えるための手続き・養子制度の説明他		

里親家庭のための研修と支援

(1) 里親のための子育て研修会

毎年開催している2日間の「保育ボランティア養成と家族支援講座」は中止。

(2) 養育里親更新研修

登録里親の5年毎の更新研修が平成25年度より行われるようになり、令和2年度は以下のように実施し99人が受講。実習が必要な里親32人（兵庫県17人、神戸市15人、明石市0人）の内、3人（兵庫県）が週末の土、日曜日に児童養護施設での1日実習を行った。コロナウイルス感染症拡散防止等のため実習が来年度に延期になった里親は29人。

		日 時	会 場	参加者数 (人)	うち		
					兵庫県	神戸市	明石市
第1回	講義	令和2年 6月13日(土)	たちばな職員研修センター 研修室	38	19	17	2
第2回	講義	9月6日(日)	宝塚市男女共同参画センタ ー学習交流室	31	23	8	0
第3回	講義	令和3年 1月27日(水)	姫路市民会館第6会議室	30	24	6	0
合計				99	66	31	2
うち 各回	実習		県下及び神戸市内の 児童養護施設で実施 <延期>	3 <29>	3 <14>	0 <15>	0 <0>

(3) 未委託里親トレーニング研修

兵庫県から委託を受け、今年度も過去5年間に子どもの受託がない登録里親を対象に次のような研修を実施した。今年度も2回開催を予定していたが、緊急事態宣言発令のため、姫路市で1回のみ開催となった。

日 時	令和2年10月24日(土) 10:30~16:00
場 所	姫路市民会館 第6会議室
研修テーマ	「令和2年度 里親のための養育スキルアップ講座」
プログラム	<14時~15時10分> お話「養親家庭で育ち、親になって今思うこと」 Aさん(20歳代・女性) <15時20分~16時20分> 事例検討・演習 「こんな時どうする？」 <16時20分~16時30分> 今後に向けて(まとめ)
参加人数	20人

(4) 専門里親研修

令和元年度2~3月に2人の専門里親養育実習をすすめていたが、緊急事態宣言の発令等により3月の施設実習が中止となったため、令和2年度に残りの実習を行った。

なお、令和2年度の専門里親実習は令和3年度に延期とした。

日 時	実習場所	プログラム
9月25日 13:30 } 16:00	明石こどもセンター	①DVD「家族の肖像」視聴 ②講義「知的障がい児の理解と支援」
9月28日 9:00 } 12:00	兵庫県発達支援センター	発達に課題をもつ子どもの理解と 関わり方を現場から学ぶ
10月2日 13:30 } 16:30	兵庫県中央こども 家庭センター	①講義 ・被虐待児の理解 ・関係機関との連携 ②一時保護所の見学実習

(5) 養子縁組制度の説明と懇談

特別養子縁組を終えた養親が体験を話し、普通養子縁組・特別養子縁組の制度と手続き、改正された特別養子縁組法のポイントについてケースワーカーが説明した後、意見交換を行った。

日 時	令和2年7月29日（水）
場 所	神戸市立総合福祉センター 第5会議室
参加者	24人

(6) 真実告知研修会

今年の真実告知研修会を3月に計画していたが、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

日 時	令和3年3月
場 所	神戸市立総合福祉センター
参加者	<中止>

(7) 里親支援プログラム

■「里親サロン」の開催

里親サロンも17年目になるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため毎月開催していたのが4～5月、12月～2月は中止となり、開催月も感染防止に配慮して半日のみで保育は行わず、少人数での懇談にとどめた。

春休みの3月30日には、サロン参加者を室内での懇談グループと神戸どうぶつ王国への遠足グループの2班に分け、久しぶりに交流と情報交換の機会をもつことができた。

里親サロン開設月と参加人数

月	R2 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3			合計	
										1月	2月	3月		
参加 人数 (人)	里親	—	—	5	10	11	7	10	8	—	—	—	22	73
	こども	—	—	0	3	4	1	2	1	—	—	—	23	34
	保育ボランティア	—	—	0	0	0	0	0	0	—	—	—	2	2
	講師その他	—	—			0								0
計	—	—	5	13	15	8	12	9	—	—	—	47	109	

里親家庭の親睦と交流

(1) 2020年度里親家庭ぼんぼこ1日自然体験ツアー

例年のキャンプが開催できなくなったため、キャンプに代わる夏の交流イベントとして、淡路島へ「1日自然体験ツアー」を行った。8月14日と15日に2つの班に分かれ、それぞれバス1台で向かった。田畑での野菜収穫や、チーム対抗の火起こし対決、長い根っこ抜き対決などを行った後、夜はニジゲンノモリで「ナイトウォーク火の鳥」に参加し、光と音で演出された公園内を散策し楽しんだ。このツアーはGo To トラベルキャンペーンの適用となり、費用がかなり減額された。

日 時	令和2年8月14日（金）／15日（土） 2日
場 所	・淡路市共創循環型ファームビレッジ Seedbed ・ニジゲンノモリ
参加人数	1日目 43人 2日目 46人 計89人

(2) 新春初笑い大会

例年100人を超える参加者があり、里親家庭の交流の場として計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。代わりに春休みに里親サロンの一環として、室内で里親同士が懇談するグループと神戸どうぶつ王国へ遠足に行くグループに分かれ、相互交流の機会を持った。

日 時	令和3年3月30日（火） 10:30～15:30
場 所	・神戸市立総合福祉センター 第5会議室 ・神戸どうぶつ王国
参加人数	53人（ボランティア・職員含む）

グループぼんぼこの活動

中・高校生の里子、養子及び社会人のボランティアを中心とした「グループぼんぼこ」の活動は、令和2年度はキャンプ、初笑い大会等の事業が中止となり、メンバーが集まる機会が少なかった。8月に開催したチャリティ映画会では、会場の準備、来場者の手指の消毒、検温などの作業を手伝っていただいた。

また未委託里親の研修では、受講者に経験を話していただくなどの協力を得た。

II 季節里親・週末里親の促進事業（NHK歳末たすけあい受配事業）

(1) ボランティア里親の募集と説明会

季節里親・週末里親を募るための説明会を11月8日に開催した。プログラムは養護児童の現状についてパワーポイントで説明、ボランティア里親の意味や役割について話した後、週末里親さんから自身の活動について話していただき、参加者との意見交換を行った。説明会の後、希望者には受付面接を行った。

日 時	令和2年11月8日（日） 13:30～15:30
場 所	神戸市立総合福祉センター 第5会議室
参加人数	24人

(2) 季節・週末里親の活動報告と交流会

2月～3月に交流会を予定していたが、収束の傾向が見られないため中止とした。

委託・交流中の児童の状況（神戸事務所）

季節里親

〈令和3年3月末〉

年齢別 人数	幼児 (2～6)	小学生 低学年 (6～9)	小学生 高学年 (9～12)	中学生 (12～15)	高校生 (15～)	合計
夏 季	2	9	7	9	8	35
冬 季	3	7	6	8	5	29

夏季には35名の児童が32家庭に、冬季には29名の児童が28家庭と交流を持つことができた。新型コロナウイルス感染防止のために、外泊や交流ができない期間があった。施設により交流状況への対応も異なり、交流ができた児童数は今年の6割ほどとなった。

週末里親

〈令和3年3月末〉

年齢別 人 数	幼児 (2～6)	小学生 低学年 (6～9)	小学生 高学年 (9～12)	中学生 (12～15)	高校生 (15～)	合計
1	10	5	7	5	28	

今年度末で、週末里親との交流が継続している児童は28人。年齢の内訳は上記の通りである。新型コロナウイルス感染防止のために、外泊ができない施設もあり、外出のみ、面会のみ、電話や手紙、リモートのみの交流など制限がある中で、里親はよく対応いただいた。交流ができた児童数は今年の7割となっている。

Ⅲ 子育て支援活動

(1) 「子育てサポートグループぼちぼち」の活動

新型コロナウイルスの感染防止のため、ほとんどの活動を中止とした。

「スポチャンくらぶ」の開催

発達凸凹のあるこどもが楽しく参加できる運動&療育の機会として、親子スポーツチャンバラ教室「スポチャンくらぶ」を2か月に1回、開催の予定であったが、感染状況の拡大により、実施できたのは1回のみであった。

日 時	令和2年10月25日(日)
場 所	神戸市障害福祉センター 体育室
参加人数	10人
タイトル	「スポチャンくらぶ」
講 師	横山 裕行氏 (Total Budo Gym 武道 松朗館 代表)

(2) 子育て相談

配布している子育てサポートカードやHPを見て、子育てについての相談の電話がある。学校での子どもの友達関係、親の死亡や離婚後の子育て、子ども本人からの進路相談などがあり、話をきいた。

IV 里親支援に関わる WORKER のための研修

今年度は中止とした。

V 里親・養子縁組相談支援事業

兵庫県より補助金を受けて、里親や養子縁組を希望する人たちへの相談を受け、また予期しない妊娠でとまどっている人たちを支援するための事業を行った。妊娠に関わる相談件数は多くはないが、受理した養護相談についてケースワーカーが面接、相談などの支援や、養親希望者への委託を行い、ケースによってはこども家庭センターへつなぐ等した。

VI 神戸市里親会受託業務

令和2年6月より神戸市里親会の事務局が神戸市こども家庭センターから当協会神戸事務所内に移管された。移管にともない神戸市里親会から事業委託を受け、非常勤職員1名を置いて里親会の業務を行っている。主な事業として、パンフレットの企画と発行(3000枚)、里親出前講座の開催(3月6日)、親睦のための日帰りバス旅行の実施(3月23日)、定例役員会の開催などを行った。

VII 「あかし里親センター」の活動

JR大久保駅南のあかし保健所1階に「あかし里親センター」を開設し、2年目となる。今年度も主として明石市内の28カ所の小学校区に複数の登録里親を配置するため、啓発や出張里親相談会等を行ったが、コロナ禍の中で新聞への折り込み広告を一部中止し、相談会も計画通りには実施できなかった。2021年3月末で18校区に里親を配置。明石市の登録里親数は45組となった。

(1) 広報・啓発事業

① チラシ等配布

- ・企業、団体、地域等への啓発
- ・企業 26社 団体 12ヶ所 市関係機関 130ヶ所

② 広報イベント

- ・10月19日(月) 明石魚の棚 チラシの配布、似顔絵作成、里親クイズ
- ・11月20日(金) ピオレ明石 チラシの配布、里親パネル展示、里親クイズ、チャリティバザー

③ マクドナルド店舗でチラシ配布

時期：8月、10月 ー配布枚数：10500枚

④ 新聞折込広告

- ・9月20日(日) 朝日新聞、毎日新聞、朝刊 7,500枚(B4版チラシ)
- ・1月17日(日) 朝日新聞、毎日新聞、朝刊 6,000枚(B4版チラシ)(中止)

⑤ ボランティア里親入門講座

日 時	令和2年6月25日(木) 14:00~16:00	令和2年11月29日(日) 10:00~12:00
-----	-----------------------------	------------------------------

場 所	ウィズあかし	あかしこども広場
参加者	19名	

⑥ ショートステイ里親説明会

日 時	令和2年 8月13日（木）、10月12日（月）、12月4日（金） 14：00～16：00	
場 所	明石こどもセンター	
参加者	13名	

（2）相談事業

① 里親相談会（毎月1～2回開催）

日 時	令和2年 6月10日（水）、7月1日（水）、7月12日（日）、8月20日（木）、9月8日（火） 10月5日（月）、10月24日（土）、11月11日（水）、12月15日（火） 令和3年 3月5日（金） 14：00～16：00（7月12日、10月24日は10：00～12：00）
場 所	明石こどもセンター（7月12日、10月24日はあかしこども広場多目的ルーム）
参加者	24名

② 出張里親説明会

折り込み広告を配布した地域で、登録里親がまだいない地域の会場を使用して説明会を5カ所で行った。

日 時	令和2年 9月25日（金）、9月30日（水）、10月2日（金）、10月7日（水） 10月22日（木） 10：00～12：00
場 所	西明石公民館、松が丘コミセン、貴崎小コミセン、当津会館、はなぞの広場
参加者	8名

以下3カ所は、緊急事態宣言発令のため中止

明石市立西部図書館 1月23日（土）、高丘コミセン中央集会所 1月31日（日）、
ふれあいプラザあかし西 2月6日（土）

③ 相談受付

市民からの問い合わせ 56件

（3）里親支援事業

① 「里親カレッジ」－明石市の登録里親を対象とした勉強会

第1回里親カレッジ

テーマ	「養親として大切なことは何だろう」
日 時	令和2年9月1日（火） 10：00～12：00
場 所	ウィズあかし
参加者	2家庭 4人

第2回里親カレッジ

テーマ	「虐待を受けた子どもの理解と関わり方」
日 時	令和3年3月6日（土） 10：00～12：00

場 所	西日本こども研修センターあかし
参加者	6家庭 10人

② 里親家庭の訪問

明石市内の里親家庭訪問 3家庭 7回

③ 小冊子の発行

「里親養育をはじめのために」 200部発行

(4) 関係機関との連携

R2年5/25	明石地区里親会総会	中止
9/10	明石地区里親会理事会	
12/14	すこやかネット会議	
12/16	家庭復帰等評価委員会	
12/25	明石市社会的養護部会	
R3年2/25	里親子応援会議	

VIII 広報活動

(1) こどもの日キャンペーン

上半期の事業報告に記載

(2) 愛の手運動の写真とパネル展、オレンジリボンキャンペーンの開催

令和2年12月10日～13日の4日間 JR神戸駅南の「デュオぎやらりー」に於いて、愛の手運動の写真とパネル展、チャリティバザー、児童虐待防止のオレンジリボンキャンペーン等の啓発を行った。事前に2000枚のチラシを近隣の地域にポスティングして広報を行った。会場では新型コロナウイルス感染拡大防止に細心の注意を払い、対策を行って実施した。

(3) 里親出前講座

神戸市里親会と共に実施している「里親出前講座」を協会がコーディネートして、下記の大学等で行った。また、神戸市里親会主催の「里親出前講座」を3月6日(土)に神戸市教育会館で開催した。初めて会場からオンラインでの中継を行い、会場での受講者とオンラインでの受講者がプログラムを共有することができ、コロナ禍社会での新しい出前講座の方法を考える参考とすることができた。

神戸市シルバーカレッジ(35人)、神戸市婦人大学(38人)、
 四条畷学園大学2回(オンライン164人)、神戸女子大学短期大学部(オンライン83人)、里親出前講座(50人)

受講者 延べ370人

(4) 機関誌「育てる」No.57を大阪事務所と3550部を10月に発行。(共同募金配分金事業)

(5) 機関紙「はーもにい」を6月、10月、12月、令和3年3月にそれぞれ2900部発行。
 表紙絵を竹内 絵理亜氏に依頼。

(6) 共同募金配分金を受けて「ケースワーカーと学ぶ里親養育の基礎知識(2021年改訂

- 版)」を作成した。1000冊出版。
- (7) 神戸市里親会と共にリーフレット「こころでつながる家族～知ってください里親のこと～」を3000部発行。
- (8) 「里親制度をすすめるために～愛の手運動のしおり」を2000部発行。
- (9) コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となっていた「里親運動をすすめるためのチャリティ映画会」を令和2年8月13日(木)に神戸文化中ホールで「若おかみは小学生」の上映をした。感染防止対策を取りながら実施。来場者63名。

IX 講師等としての講義・講演など

7/15	井植文化賞社会福祉部門選考委員会	
7/16, 12/24	四條畷学園大学看護学部で講義	
9/26	岡山県市養育・養子縁組里親登録前研修で講義	
10/11	大分県里親中央フォーラムにて講義	
10/12	神戸市シルバーカレッジで講義	
10/30	神戸市児童養護施設連盟職員部会研修会にて講義	
12/3	岡山県児童相談所職員人材育成研修にて講義	
R3年1/22	フォスタリング機関職員研修(大阪会場)にて講義	} 東京からの オンライン講義
1/29	フォスタリング機関職員研修(札幌会場)にて講義	
2/26	フォスタリング機関職員研修(東京会場)にて講義	
3/8	主任児童委員等研修会(於:加古川)にて講演	
3/9	神戸婦人大学で講義	

X 職員のための研修

次のような研修会に参加し、職員のための研修を行った。

- ① 「兵庫県里親リーダー研修」(明石市 9/7)
- ② 「神戸市里親支援機関研修」(神戸市 11/12)
- ③ 「大阪事務所主催 全国児童相談所里親担当者連絡会」(大阪市 12/3)
- ④ 「養子縁組民間あっせん機関職員研修」(オンライン 1/8)
- ⑤ 「養子縁組民間あっせん機関職員研修」(オンライン 11/7, 2/12)

XI 生活資金・奨学資金貸付事業

今年度は、コロナ禍の中で生活が成り立たず、一時的な資金を必要とする人たちに770,000円(4名)の貸付を行い、これまでの借用者から230,000円(2名)の返済があった。

XII 活動資金を募るための活動

今年も活動資金を募るために他団体主催のバザーに出店したが、中止となったバザーもあり、出店は1回のみであった。

5/5	神戸新聞紙上で第43回目の愛の手広告キャンペーンを実施。協賛団体29社	
5/16	神戸まつりの湊川公園「はっぴいひろば」バザー<中止>	0円
8/13	チャリティ映画会バザー	0円
11/1	健康・福祉フェアバザー(神戸市北区しあわせの村)	52,820円

12/10～13	「デュオぎやらりー」チャリティバザー	684,900 円
R3年3月	神戸市重度心身障害児（者）父母の会バザー<中止>	0 円
R2年4/1～		
R3年3/31	福祉センターミニバザー	114,560 円

・兵庫県芸術家協会からはチャリティコンサートの収益を、有馬向陽閣、銀水荘別館兆楽、ホテルクレール日笠からはチャリティボックスの寄付を、またエンゼル保育園からはバザーカンパや職員・保護者から寄付を毎年協会に寄せていただいている。

・ダイエー三宮店「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に登録し、レシート総額の1%、8,634円を寄贈いただき、里親サロン等での子ども用の菓子を購入した。

・国際ソロプチミスト神戸、神戸西ワイズメンズクラブ、兵遊協福祉基金、東洋財団、（公財）井植記念会、神戸ロータリークラブ、神戸あじさいライオンズクラブ、神戸兵庫シティライオンズクラブ、神戸六甲ポートライオンズクラブ、神戸垂水ライオンズクラブ等から、活動のための支援をいただいた。

その他

- (1) オリックスバッファローズ野球観戦チケット（ほっともっとフィールド・京セラドーム）を神戸市と神戸市社会福祉協議会善意銀行を通じていただいた。
- (2) エデュテ株式会社より主に乳幼児用の木のおもちゃを多数寄贈いただいた。里親家庭の子どもにプレゼントした他、一時保育用のおもちゃとして使わせていただくことにした。
- (3) (株)ベリカより除菌消臭ベリクリーンプロを多数寄贈いただき、神戸市内児童養護施設、里親家庭に配布した。

令和2年度 家庭養護促進協会 事業報告

— 大阪事務所 —

I. 里親及び申込者のための研修と里親子のための親睦活動

【養子を育てたい夫婦のための連続講座】

申込者の高齢化が進み、初回来所から委託までの期間が短くならざるを得ないので、委託前にはできるだけ講座を受講するよう勧めている。平成28年6月より大阪府養子里親支援機関事業を受託し、登録前研修として位置づけられたことから、従来より回数を増やし、年4回実施している。また、令和元年度から大阪市においても登録前研修として位置づけられ、事業委託を受けることとなった。

講座は、連続3回で土曜日13時30分から17時30分（最終回は18時）。のべ64組（実数57組）の受講者のうち、養親候補者として推薦したのは5組、調査検討中3組である。昨年度以前に受講し、今年度推薦したのは15組である。登録前研修になったので、講座を受講した後、すぐに委託には結びつかないのが難しいところである。

		第97回	第98回	第99回	第100回
日 時		6/6, 13, 20	9/12, 19, 26	12/12, 19, 26	3/6, 13, 27
場 所		大阪市立社会福祉センター会議室/たかつガーデン			
内 容	1 グループセッション	参加者と職員とのワーク			
	2 「養子里親の体験談」から	O夫妻	S夫妻	I夫妻	K夫妻
	3 「養子を育てること」とは…	岩崎 美枝子			
参 加 者		18組	11組	16組	19組
オブザーバー参加者		3名	4名	2名	3名

【養親ゼミナール】

平成28年度より養親を対象にした研修を実施している。養親の関心の高いテーマとして、下記のテーマを取り上げた。コロナ対策のため、実施回数は少なくなったが、次年度も続けていきたい。

- ① 6月1日(月)13:00～16:00 「思春期について」 新型コロナウイルス感染拡大防止対策（以下「コロナ対策」とする）のため中止
- ② 7月11日(土)13:00～16:00 「真実告知について」 講師：岩崎美枝子
(養親23名、養親の親族1名、養親希望者7名、関係機関等6名)
- ③ 10月10日(土)13:00～16:00 「運動の不器用さを有する子どもたちの理解と支援」
講師：畿央大学ニューロリハビリテーション研究センター、畿央大学大学院健康科学研究科
信迫悟志氏 (養親13名、養親希望者2名、関係機関等3名)

【里親子の親睦を深めるための活動】

(1) ふれあいキャンプ

8月11日から2泊3日でYMC A阿南国際海洋センター（徳島県阿南市）での海のキャンプを予定していたが、コロナ対策のため中止とした。代わりに8月13日にJBクラブOB会として会議室を開放し、サロンを実施した。（参加者：7組）

(2) おやこDEうんどう会

毎年11月3日に大阪市立長居小学校で開催しているが、コロナ対策のため中止とした。

(3) JBクラブ

養（里）子を養育中の母親（父親）が、子ども連れで集える「ひろば」の開催を平成18年度より継続。月に1回（10:30～15:00）、主に就園前の幼児を養育中の養（里）親家庭が参加してくれているが、秋の遠足やクリスマス会は就園児の参加も多い。養母同士のつながりも強くなっており、親しく会話を交

わす様子がみられ、J Bクラブ以外の場でも繋がりを持つようになっている。27年度までは、愛の手を通じて子どもを迎えた家庭に案内していたが、大阪府養子里親支援機関となったため、大阪府内の養親家庭にも参加を呼びかけている。また、大阪市や他団体からの養親家庭にも、希望があれば案内を送付している。公益財団法人大阪コミュニティ財団ふれあい基金のご支援を受けておこなっている。

4、5月はコロナ対策のため中止。1月に計画した遠足も中止した。6月から3月まで9回開催し、参加者はのべ75家庭。

【児童相談所里親担当者連絡会の開催】

大阪府・大阪市・堺市の子どもを委託したことのある児童相談所を中心に広く呼びかけての里親担当者連絡会は、今年で32回目となった。コロナ対策のため、オンライン開催とし、2日間の日程を組んだ。意見交換会として1時間ずつ4回おこない、オプションとして2回協会への質問コーナーの時間を設けた。オンラインのため、例年よりも遠方や初めての児童相談所の参加が多かった。

日 時	12月2日(水) 13時30分～17時30分 12月3日(木) 10時00分～12時30分 (オプション13時30分～16時)
場 所	大阪市立社会福祉センター内協会事務所よりオンライン配信
内 容	1日目 オンライン意見交換会①②③ 2日目 オンライン講義 「特別養子縁組制度改正による児童相談所長の申立てケースについて」 話題提供者：大阪市こども相談センター里親子包括支援室 寺内眞起子氏(家庭養育推進担当課長代理) 久保美香氏(スーパーバイザー) オンライン意見交換会④ オプション①②
参加児相	札幌市／青森県八戸、七戸／岩手県福祉総合センター／宮城県中央／山形県中央／福島県中央、 県中／栃木県中央／埼玉県川越、越谷／さいたま市／千葉県市川、君津、千葉市／東京児童相談 センター、世田谷区／横浜市中心、西部、南部、北部／新潟県中央、長岡／富山県富山／石川県 中央／長野県中央、松本、飯田／静岡県西部／静岡市／浜松市／愛知県海部、西三河、刈谷／三 重県中勢／滋賀県中央、彦根、大津高島／京都府宇治、福知山／京都市／兵庫県西宮、川西、姫 路／島根県中央、出雲、益田／岡山県中央、倉敷／徳島県中央、南部／福岡県田川／長崎県長崎、 佐世保／大分県中央／沖縄県コザ／大阪府中央、池田、東大阪、岸和田、吹田、富田林／堺市／ 大阪市 64児相

II. 里親制度に関する広報活動

【機関紙・誌の発行】

(1)月刊紙「あたらしいふれあい」の発行

大阪府共同募金会NHK歳末助け合い配分金をいただき、継続して発行できている。毎月3,500部を印刷し、約3,000部発送。表紙のカット、発送作業のすべてにボランティアの協力を得て、毎月の発行を継続している。

(2)年刊誌「育てる」の発行

No.57を大阪・神戸事務所あわせて3,550部発行。大阪事務所では、会員、里親、関係機関等に1,850部送付している。

【一般向けチラシ・冊子等の作成】

新規デザインのリーフレット2種類 各2,000部(日本財団助成)

【愛の手街頭キャンペーン】

里親制度や協会活動のための街頭キャンペーンには、平成6年度から大阪曾根崎ライオンズクラブのご支援を得ている。この活動はクラブの奉仕活動として位置づけ、取り組んでいただいている。

5月14日は、コロナ対策のため中止とした。10月15日は大阪市北区堂山町で実施した。協会活動の

趣意書をつけた玩具（1,000 個）を大阪曾根崎ライオンズクラブのメンバーとともに手袋をはめて通行人に配布し、里親制度及び協会活動の広報をおこなった。玩具の購入および、チラシ付けも大阪曾根崎ライオンズクラブのメンバーがおこなってくださった。コロナ禍で配布は難しいのではないかと思われたが、多くの人に手にとってもらえた。当日は、関西テレビの取材があり、対応した。

【里親いろいろ応援団】

大阪市里親施策推進プロジェクト会議の活動の一環で、平成 21 年度より市民ボランティア「里親いろいろ応援団」として活動、協会が事務局となって活動をおこなってきた。平成 29 年度末で大阪市里親施策推進プロジェクト会議が解消され、平成 30 年度末をもって大阪市里親施策推進プロジェクト会議の一環としての活動は終了した。昨年度より自主的な市民ボランティア団体としての「里親いろいろ応援団」の活動となり、縁活とイエローレシートキャンペーンは継続して団員がおこなっている。

毎月 11 日	イオンモール鶴見緑地にて、「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加。買い物客がレジ精算時に受け取った黄色レシートを応援したい団体の投函 BOX へ入れると、購入金額合計の 1%が希望する品物（イオンギフトカード）で寄贈されるしくみである。
12 月 13 日（日）	あべのハルカス近鉄本店 縁活プロジェクト「里親ってなあに？」 里親制度の説明（動画上映）、リコーダー演奏（動画上映）、マスクカバー作り

【H2Oサンタ関連】

阪急・阪神百貨店を中心とした、H2Oリテイリンググループの社会貢献団体である、H2Oサンタの協力により、例年 5 月の児童福祉月間にチャリティートークイベントで団体紹介をしていたが、百貨店がコロナ対策のため休業していたため中止となった。2 月には、NPO フェスティバルに団体として参加する予定であったが、コロナ対策のためブース展示（2 月 16～22 日）だけとなった。

11 月 20 日にコロナ禍レポートとして、団体紹介の動画を撮影し、編集されたものが、Youtube で視聴できるようになっている。

【JAMM I NコラボTシャツ】

8 月 3～9 日の 1 週間、京都にあるチャリティー専門のファッションブランド JAMM I N とコラボし、チャリティー T シャツなどを販売した。

JAMM I N では、毎週、1 週間限定で NPO 団体等とコラボし、団体の活動を表現したデザインのチャリティーアイテムを販売、サイトでは団体の活動について詳細に紹介された。売り上げの一部が団体への寄付となる仕組みで、チャリティー総額は 311,880 円となった。サイトでの団体紹介は継続して閲覧できるようになっている。

【リーフレット、のぼり作成】

日本財団の助成を受け、のぼり 2 サイズ（大 5 枚、小 2 枚）を作成した。のぼりは愛の手キャンペーンなど街頭イベントで使用した。

【毎日新聞その他による報道記事】

- R2. 5. 「公益社団法人家庭養護促進協会（大阪事務所）の取り組み」（月刊 WAM）
- 8. 5 「限定商品で『家族』表現」（毎日）
- 10. 4 「里親制度理解深めて」（徳島）
- 10. 11 「里子との関係 尊重が重要」（読売）
- 10. 16 「里親制度 理解求め 街頭 PR キャンペーン」（毎日）
- R3. 1. 5 「家庭養護促進協会 CF で支援募る」（毎日）
- 1. 31 「「養親との縁、思い語る」（毎日）
- 2. 1 「特別養子縁組の当事者が座談会」（神戸）
- 2. 14 「養親への感謝語る」（毎日）
- 2. 15 「特別養子の若者『育ち』語る」（福祉）
- 2. 21 「子どもたちと、未来を-里親探しキャンペーン『あなたの愛の手を』の歩み-
- 3. 27 「『うちの子』の成長が宝物」（毎日）

【各地・各団体での講演会等で講師として活動の紹介等をした】

- R2. 9. 12 愛媛県里親関係者研修会にて講演（岩崎）
10. 3 里親フォーラム in とくしまにて講演（岩崎）
10. 4 徳島県里親支援機関職員専門性強化研修にて講演（岩崎）
10. 27 大阪人間科学大学社会福祉学科「児童家庭福祉論」特別講義にて講師（和田）
11. 18 大阪戎橋いとはんライオンズクラブチャーターナイト 49 周年記念例会にて講演（岩崎）
11. 25 三重県里親会特別養子縁組サロン「ひなたぼっこ」勉強会にて講師（和田）
12. 6 山口県乳幼児養育里親育成研修特別講義にて講師（山上）
12. 12 HORAC グランフロント大阪クリニック患者会 Cocochi-na にてオンライン講演（山上）
R3. 2. 18～2. 24 おおさか不妊専門相談センター主催オンデマンドセミナー「実子以外の選択肢『里親』を考える」にて講演とインタビューアー（和田）
3. 14 福岡市ステップアップ研修にて講演（岩崎）

Ⅲ. 活動資金獲得のための活動

【えべっさん飴売り】

コロナ対策のため、十日戎は神事のみで、露店については自粛要請が出たため、出店しなかった。そのかわりに通信販売と事務所での販売を行うことにし、オリジナル飴と福豆、なにわづの飴を仕入れた。多くのご協力を得て、収益を出すことができました。

収 益 361,900 円
寄 付 61,896 円

【クラウドファンディング】

えべっさん飴売りができなくなったものの、不足した活動資金を獲得するため、クラウドファンディングを活用できないか検討した。CAMPFIRE というサイトで、手数料が無料になる「新型コロナウイルスサポートプログラム」に応募し、クラウドファンディングに取り組むことができました。オリジナル飴となにわづの飴を返礼品とし、100 万円を目標額として1 か月間の募集をしたところ、多くのご協力を得られた。広報活動の側面も大きく、協会の活動について詳細に記載できるので、今まで里親制度や協会の活動を知る機会がなかった人たちにも活動について知ってもらえる機会となった。

期 間 12 月 21 日～1 月 20 日
達成額 1,114,500 円（170 件）

Ⅳ. 研修活動

【職員のための研修】

- R2. 8. 29 大阪府里親支援機関おひさま主催オンライン里親体験談会に参加（山上、中島）
10. 18 ふたば里親会・東大阪子ども家庭センター・大阪府里親会主催里親シンポジウム地域集会「家庭のぬくもりを子どもたちに」にファシリテーターとして参加（和田）
R3. 1. 20 養子縁組民間あっせん機関職員研修オンライン受講（山上）
1. 20 ベアホープ主催民間あっせん機関勉強会・交流会オンライン参加（和田）
1. 27 ベアホープ主催民間あっせん機関勉強会・交流会オンライン参加（岩崎、山上）
2. 13 大阪府医師会主催「子育て支援フォーラム i n 大阪 ～若者が輝く社会を共に考える～」に参加（岩崎）
2. 13 大阪府里親支援機関おひさま主催 2020 年度課題別研修「子どもの発達についてー子どもの育ちを支えるためにー」オンライン受講（山上、中島、和田、中合）
3. 9 ベアホープ主催民間あっせん機関勉強会・交流会オンライン参加（山上、和田）

V. ホームページ関連

平成 11 年 3 月 18 日に大阪事務所のホームページを開設し、平成 29 年 12 月にリニューアルした。イベントの告知や Facebook の情報もトップページに表示している。現在は、平均すると 1 カ月 1,200～1,300 件ほどのアクセス数で昨年度に比べると倍増している。今後は更新頻度を多くして、具体的な問い合わせにつながるホームページを目指したい。 <http://ainote-osaka.com>

平成 24 年 10 月に開設した Facebook ページでは、愛の手記事へのリンク、日々の活動についての報告、イベント開催などの告知などを行っている。 <http://www.facebook.com/ainote.osaka>

令和 2 年 8 月に Twitter も開設した。 https://twitter.com/ainote_osaka

ホームページを通じての今年度の書籍購入は 112 件 278 冊。会員入会は 1 件であった。

メール相談については、以下のとおり。地域を問わず、40、50 代以上からの養子縁組希望の問い合わせが多かった。開設からの累積受付件数は 1,588 件となった。メール相談を通じて来所につながった養子縁組希望者が 5 件、週末里親希望者が 1 件あった。

【地域別】

大阪府下	14
近畿圏内（大阪府を除く）	10
近畿圏外	16
海外	1
不明	4
合計	45

海外：カナダ

【相談者の年齢】

10代	0
20代	0
30代	4
40代以上	28
不明	13
合計	45

【相談内容】

養子を育てたい	36
里親一般について知りたい	2
縁組・入籍等の手続きが知りたい	1
週末里親について知りたい、やりたい	4
国際養子について知りたい	0
養子になりたい、里親を探してほしい	1
養育相談	0
その他	1
合計	45

* メール相談を通じて来所
 養子縁組希望 5件
 週末里親希望 1件
 その他 0件

VI. 相談事業

【愛の手相談室】

相談の現状については以下のとおり。

「縁組後のアフターケア」は、縁組後の養親から養育や真実告知についての相談、成人した養子からのルーツ探しなどがあつた。他の養子斡旋団体や実親からのケースの相談も数件あつた。

相談内容	件数	電話	来所・訪問	備考
養護相談	5	5	0	
養育相談	5	5	0	
縁組後のアフターケア	60	47	13	思春期、不登校、ルーツ探し等
継続相談	0	0	0	
その他	11	10	1	特別養子縁組の手続き等
合計	81	67	14	

//
//

//
//

東大阪版(3月12日)10万部
河内版(3月18日)10万部

- ・2020年度特別養子縁組啓発プログラム 座談会「わたしが養子であるということ・・・」
R3.2.6(土)13:30~16:30 天王寺区民センター 参加者:123人
20~30代の6名の特別養子による座談会を行った。子ども自身が、生い立ちや実親、養親への思い、告知やルーツ探しのことなどを語り、3時間があっという間に過ぎた。アンケートの結果からも大変好評だった。
- ・大阪府内の不妊治療実施医療機関および保健所、保健センターへリーフレットを配布した。

(2) 養子親認定の手続き

- ・認定希望者の問い合わせ対応や、ガイダンスを協会で行った。
問い合わせ対応 58件
ガイダンスの実施 34件(うち25件が年度内に登録手続き開始)

(3) 研修の実施

- ・登録前研修(養親講座)6月(2組)、9月(3組)、12月(3組)、3月(4組)
- ・登録前研修(追加分・子どもに起こりやすい事故の予防と応急手当)
10月3日(土)(9組)、3月6日(土)(6組)
- ・施設実習 9組
- ・更新研修(養親ゼミナールの日にあわせて)7月11日(2組)
- ・課題別研修(同上)7月11日(8組)、10月10日(6組)

(4) 要保護児童の委託先検討

- ・随時

(5) 子ども家庭センターとの連絡調整

- ・毎月1回、連絡会議を実施

(6) 里親家庭及び委託児童への支援

- ・初回面会后、実習中は施設への訪問や外出や外泊時の家庭訪問、また委託後は電話やメールでの相談対応、また家庭訪問を随時実施

(7) 里親委託等推進委員会調整委員会・里親委託等推進合同連絡会への委員派遣

- ・R3.3.9 里親委託等推進調整委員会(岩崎、中合)
- ・3.10 里親委託等合同連絡会 コロナ対策のため中止

【週末里親事業】

今年度は16組の週末里親子のマッチングが成立しており、施設で生活する子どもにとって、貴重な家庭生活体験の場になっている。緊急事態宣言等により、活動がかなり少なくなった。

① 活動実績

30施設 児童108名 里親86組(うち登録里親9組)
延べ回数 656回 延べ日数 1244日 (※2泊3日事業の活動含む)

② 2泊3日里親事業

長期休暇中、家庭に帰れない子どもを対象に、待機となっている週末里親希望者の中から協力者を募り、2泊3日の家庭生活を体験することを目的として実施。

	候補児童	マッチング数	うち週末里親へ移行
夏季	20名（16組）	週末10組	週末8組
冬季	23名（19組）	週末9組/はぐくみ2組	未定

③ 令和元年度新規週末里親子

協会マッチングケース 10組 児童数 11名
 愛の手マッチングケース 1組 児童数 2名
 施設内マッチングケース 5組 児童数 7名

④ 大阪府週末里親懇談会

コロナ対策のため開催せず

⑤ 週末里親研修

週末里親活動希望者に対し、社会的養護を必要とする子どもを理解してもらい、子どもが生活している施設の実情を知ってもらうことを目的として実施。

日 時	9月26日（子供の家）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会的養護が必要な子どもの理解」「週末里親と関わりのある子どもについて」 <li style="padding-left: 20px;">講師：大森啓代氏 児童養護施設子供の家主任 <li style="padding-left: 20px;">川本陽子氏 児童養護施設子供の家里親支援専門相談員 ・施設見学 ・週末里親体験談
参加者	9組12名

X. 生活資金・奨学資金貸付制度

平成25年度に21歳男性（養子）が自立支援フリースクールへ通う学費1年分を、教育支援資金として316,800円貸し付けた。男性は就労していたが退職し、返済が滞った時期もあったが、新たに就職をし、令和2年度中に全額返済された。新たな貸し付けはなかった。

XI. その他の活動

◆新聞社等マスコミからの取材に対応した。

R2. 11. 2 産経新聞桑波田記者
 R3. 1. 25 毎日新聞山本記者
 2. 4 毎日新聞谷田記者
 2. 15 毎日新聞山本記者

◆協会活動や里親制度等について知るために以下の人々の訪問があった。

R2. 7. 3 元毎日新聞記者嶋谷氏とその知人の大島氏
 7. 10 養子の〇さん大学の課題研究のため
 8. 3 千里金蘭大学生活科学部児童教育学科4回生古谷さん
 10. 8 津田塾大学4回生吉野さん（オンライン）
 R3. 1. 13 大阪府議会議員中野氏、東大阪市議会議員井越氏、枚方市議会議員小池氏

◆以下の企業や団体が愛の手運動のためにという趣旨でイベント等を企画し、その収益を活動資金等として寄贈いただいた。いずれの場合も、単にご寄付を受けたということだけではなく、愛の手運動のPR活動としての効果もあり、感謝している。

- *一般社団法人大阪府宅地建物取引業協会 泉州支部 (21,506 円)
- *H2Oサンタ関連 (189,125 円)
- *向井珍味堂 (14,910 円)
- *第一工芸株式会社 (23,225 円)
- *大阪戎橋いとはんライオンズクラブ (100,000 円)
- *大阪さくらライオンズクラブ (50,000 円)
- *南大阪みささぎライオンズクラブ (10,000 円)
- *株式会社東和総合サービス 大阪本社 (21,600 円) 東京本社 (13,468 円)
- *懐メロ保存会リベリカ本店 梶川幸子 (50,000 円)

- ◆府子ども家庭センター里親担当者会議に出席し、大阪府子ども家庭センター、大阪市こども相談センター、堺市子ども相談所との連絡調整に努めた。
- ◆民間養子縁組あっせん団体としての許可申請を一昨年度に大阪市に提出し、令和元年5月13日に許可を受けた。民間養子縁組あっせん機関の自己評価をホームページに記載。
- ◆厚生労働省「特別養子縁組制度の改正を踏まえた年齢要件の緩和及び手続の改正に係る事例に対する支援の在り方に関する調査研究」検討委員会に出席 (全4回) (岩崎)
- ◆7月30日厚生労働省「養子縁組民間あっせん機関との意見交換会」(オンライン)に出席 (山上)
- ◆文部科学省科学研究費が認められた兵庫県立大学古川恵美教授の「発達障害のある子どもの里親・養親を対象としたペアレントトレーニングの開発」研究に協力した。今年度は、平成30年度に実施したグループの個別フォローアップを実施している。
- ◆日本小児心身医学会において、里親・養親の支援に関わる調査後の小児科医を対象とした研修のインタビューに協力 (岩崎)